

東京国立博物館 ニュース

2016 **2-3**

展示と催し物案内
第735号

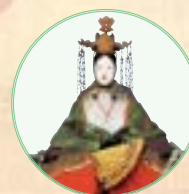
2-3 ❖「博物館でお花見を」／4 ❖特別展「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠—」

5 ❖特別展「黄金のアフガニスタン—守りぬかれたシルクロードの秘宝—」

6 ❖特別展「始皇帝と大兵馬俑」／7-11 ❖総合文化展／11 ❖保存と修理情報③

12-13 ❖みどりのライオン 教育普及事業／14-15 ❖イベント&インフォメーション

16 ❖2016年2月・3月の展示・催し物



「博物館でお花見を」

春はそこまで来ています。

定！桜づくしのトーハクへ 博物館でお花見を

3月15日(火)

4月10日(日)

です。桜の名品を鑑賞したり、イベントに参加したりなど、さまざまな桜の楽しみ方をご提案します。



(部分)



歌舞伎遊楽図屏風

筆者不詳

江戸時代・17世紀

文化庁蔵

本館7室／3月8日(火)～4月17日(日)

季節は春。満開の桜で華やぐ舞台上、歌舞伎草創期の役者たちが総踊りをし、老幼男女・僧侶・武士等が見物しています。カルタや双六で遊ぶ女性たちの遊楽図と一對の屏風で、季節も遊びも浮き浮き気分ようです。

色絵桜樹図皿

鍋島

江戸時代・18世紀

本館8室／1月26日(火)～4月17日(日)

桜の幹を皿の輪郭に沿わせ、縁から皿全体を覆うように枝が伸び、満開の桜を見上げるような贅沢な意匠です。そのデザイン性の高さに加え、染付の濃みや細密な上絵付けなど、ゆきとどいた装飾表現は鍋島ならではのものです。



桜スタンプラリー

桜マークを探しながら展示室をめぐりましょう！全てのスタンプを集めた方にはオリジナルバッジ(右参照)をプレゼント。「博物館でお花見を」期間中、毎日開催します。

台紙の配布・バッジの引換え場所：本館玄関(バッジの引換えは10:00～閉館まで)



デザインは変更する場合があります

ボランティアによる庭園茶室ツアー

「草庵茶室に入ってみよう！」

通常のガイドツアーでは入らない「六窓庵」「転合庵」の内部までご案内します。

■3月17日(木) 14:00～15:00

*雨天により中止になる場合があります。

定員：15名(応募多数の場合は抽選)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名(ふりがな)、(2)参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください)、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

※一枚のはがきで、最大2名まで申込可。

申込先：〒110-8712

東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室

[3月17日草庵茶室]係

申込締切：2016年2月18日(木)

必着



ボランティアによる「応挙館 桜茶会」

庭園に立つ茶室、応挙館でお茶会を開きます。

■3月27日(日) ①11:00～12:00

②12:30～13:30(各回とも同一の内容)

*悪天候により中止になる場合があります。

定員：各回18名(事前申込制、応募多数の場合は抽選)

参加費：500円(別途、当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名(ふりがな)、(2)参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください)、(3)代表者の電話番号、(4)希望の回(①・②のいずれか)、(5)座いすが必要な方はその旨を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

※一枚のはがきで、①②のどちらか一方、最大2名まで申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「3月27日応挙館桜茶会」係

申込締切：2016年2月25日(木) 必着

◀「春らんまん 桜めりえ」は事前申込みなしで
ご参加いただける、大人気のワークショップです

桜の街の音楽会

「東京・春・音楽祭」参加アーティストによる、無料のミニコンサートです(各回20分程度)。

■3月16日(水) 11:00～

Vive! サクソフォン・クワルテット

正門内池前 *雨天の場合は本館エントランス

■3月18日(金) 11:00～

Vive! サクソフォン・クワルテット

正門内池前 *雨天の場合は本館エントランス

■3月24日(木) 13:00～

ヴァイオリンコンサート

法隆寺宝物館エントランスホール

■3月30日(水) 13:00～

ヴァイオリンコンサート

本館大階段

主催・お問合せ：東京・春・音楽祭実行委員会

TEL：03-5205-6497

ウェブサイト：<http://www.tokyo-harusai.com/>



●夜景内外の図

窪俊満筆 江戸時代・18世紀
本館 10 室 / 3月15日(火)～4月10日(日)

派手な色を嫌って墨色を基調に制作された「紅嫌い」は、天明(1781～89)末から寛政(1789～1801)に流行した上品な浮世絵版画の表現。本図は「紅嫌い」によって夜を暗示し、提灯などの光が淡い色使いで夜桜の景を照らしています。

ユリノキちゃん

トーハクくん

月曜日だけど
開いているよ！

3月28日(月)と
4月4日(月)は
開館します。

東京国立博物館公式キャラクター

春限博

春の恒例企画

●打掛 紅綸子地御簾 薬玉桜模様

江戸時代・18世紀
本館 10 室
3月8日(火)～4月24日(日)

鶴模様を織り出した綸子地を鮮やかな紅色に染めて、端午の節供に御簾にかける厄除けの薬玉をデザインした、吉祥模様の晴着です。満開の桜は実際には節供より少し季節がずれますが、華やかさをかもし出します。



●如意輪観音菩薩坐像

平安時代・11世紀
奈良・西大寺蔵
本館 11 室 / 4月17日(日)

昨年、国の重要文化財にあらたに指定された、二臂(二本腕)の如意輪観音です。細かな彫刻がほどこされる一方で、表面に彩色しないこのような像を檀像といいます。白檀でつくられるのが基本ですが、わが国に白檀は自生していないため、この像はサクラの木からつくられています。



当館自慢の庭園を期間限定で開放します。10種類以上の桜が咲く庭園は、春こそがベストシーズン。3月25日(金)、4月1日(金)、4月8日(金)の3日間はライトアップも実施します。



春の庭園開放

3月15日(火)～4月17日(日) 10:00～16:00
*3月25日(金)、4月1日(金)、4月8日(金)は19:30まで。
*悪天候により中止になる場合があります。



桜ギャラリートーク

■3月23日(水) 14:00～14:30

「陶磁器にみる植物表現 桜を中心に」

三笠景子(東洋室研究員)

場所:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

■3月30日(水) 14:00～14:30

「長沢声雪筆桜下美人図の魅力」

山下善也(絵画・彫刻室主任研究員)

場所:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

■4月6日(水) 14:00～14:30

「日本の暮らしに咲く桜の模様」 小山弓弦葉(工芸室長)

場所:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

浮世絵に満開の桜、鑑賞ガイド

江戸の桜の名所絵や、桜にちなんだ風俗図、北斎の花鳥図など、浮世絵のお花見ツアーへ！

■3月31日(木) 11:00～11:30

講師:田沢裕賀(調査研究課長)

会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

ボランティアによるガイドツアー

桜にちなんだ作品や構内の見ごろの桜など、さまざまなテーマで「トーハクの桜」をご案内します。

*日時・テーマは本誌16ページ(3月分は今号、4月分は次号)、当館ウェブサイトでご確認ください。

東博会「花見で一句」

庭園や作品の桜をテーマに一句詠んでみませんか? ご応募は構内の投句ポストまで。入選作品は本誌8・9月号、当館ウェブサイトにて発表、記念品を贈呈します。「博物館でお花見を」期間中、毎日受付。

桜ワークショップ「春らんまん 桜ぬりえ」

桜をモチーフにした作品のぬりえに挑戦してみてください。

■3月26日(土)、27日(日)、4月2日(土)、4月3日(日) 各日11:00～16:00

*ぬりえシートがなくなり次第終了。

会場:本館2階ラウンジ

桜ファミリーワークショップ「桜の庭で屏風体験」

展示室ではなく部屋に置いた屏風はどう見えるの? 庭園の茶室で体験してみましょう。

■3月26日(土)

①10:00～12:00 ②14:00～16:00

*事前申込制、応募者多数の場合は抽選。詳細は本誌13ページ参照

ボランティアによるアートスタジオ「桜の根付作り」

展示室で根付を鑑賞した後、桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。

■3月20日(日) 13:30～15:30

対象:高校生以上

*事前申込制、応募者多数の場合は抽選。詳細は本誌13ページ参照

いよいよ開幕が迫る「黒田清輝」展。国内外から多数の

黒田関連作品が、トーハクへ集結します！

今号ではその見どころを、展覧会を担当する松嶋雅人研究

員が解説。あわせて、注目の作品もご紹介します。

特別展

生誕 黒田清輝

150年

——日本近代絵画の巨匠

平成館
特別展示室

3月23日(水)～5月15日(日)



展示総数約240件、
トーハクだからこそできる大回顧展



婦人像 (厨房)
黒田清輝
明治25年(1892)
東京藝術大学蔵
マリア・ビヨールをモデルに、2度目のサロン入選をめざして描かれました

黒田清輝のフランス留学時から晩年までの代表作を一堂に展示する本展は、過去に開催された生誕100年展、120年展の規模を超える大回顧展です。フランスでの画業修学の時代と日本洋画を模索しアカデミズムを形作った時代を通して、美術界で中心的な役割を担いつつ創作に苦闘し揺れ動く内面にも目を向け、黒田の画業全体を振り返ります。



フロレアル 黒田清輝 明治31年(1898) 公益財団法人ウッドワン美術館蔵
師ラファエル・コランの「フロレアル (花月)」に刺激を受けながら制作された作品

ここにも注目！

黒田が見た日本の光とフランスの光の色の違いは、黒田の作品に表れているようにみえます。会場では、最先端のOLED(有機EL)照明を駆使して、黒田作品に見るフランスと日本の光の違いを、ご覧いただきます。

◎ 智・感・情

黒田清輝
明治32年(1899)
理想的なプロポーションの日本人女性を描いて、世界に問うた日本の裸体画です



| 開催概要 | 主催: 東京国立博物館、東京文化財研究所、朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション; 協賛: 大日本印刷; 協力: あいおいニッセイ同和損保、エールフランス航空/KLMオランダ航空; 観覧料: 一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) * () 内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 * 障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください); お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600; 展覧会公式サイト: <http://www.seiki150.jp/>



特別展 黄金の アフガニスタン

HIDDEN TREASURES FROM THE NATIONAL MUSEUM, KABUL
〜守りぬかれたシルクロードの秘宝〜

4月12日(火)～6月19日(日)

輝きに隠された 「命がけの物語」をみよ!

ティリヤ・テベの2号墓に埋葬された女性が身につけていた頭飾。中央には、遊牧民族の衣装をまとった人物が配され、今にも動き出しそうなドラゴンを左右に従えています。

ドラゴン人物文ペンダント

1世紀 ティリヤ・テベ出土
アフガニスタン国立博物館蔵
©NMA / Thierry Ollivier



戦禍を逃れた秘宝が十数年ぶりに金庫から取り出された瞬間 (2004年)
©Kenneth Garrett



“A nation stays alive when its culture stays alive.” (「自らの文化が生き続ける限り、その国は生きながらえる」)
再開を期したアフガニスタン国立博物館に掲げられたメッセージ (2002年)
©NMA / NGS

記念講演会 事前申込制

①私とアフガニスタン

日時: 4月17日(日) 13:30～15:00 (13:00 開場予定)

講師: 松浪健四郎 (日本体育大学理事長/日本・アフガニスタン協会理事長/スポーツ史家)

②バクトリアの秘宝を語る

日時: 4月23日(土) 13:30～15:00 (13:00 開場予定)

講師: 前田耕作 (アフガニスタン文化研究所長/和光大学名誉教授)

会場: 平成館大講堂 定員: 380名 (事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講無料 (ただし本展覧会の観覧券が必要。使用済みの半券でも可)

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会の番号(①もしくは②)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。

*1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先: 〒116-0013 日本郵便荒川郵便局私書箱22号「黄金のアフガニスタン展」

記念講演会 (希望する講演会番号①もしくは②) 係

申込締切: ①3月7日(月)、②3月14日(月) 必着

開催概要 | 主催: 東京国立博物館、アフガニスタン・イスラム共和国情報文化省、産経新聞社、フジテレビジョン; 後援: 外務省、駐日アフガニスタン・イスラム共和国大使館; 特別協力: 文化庁、東京文化財研究所、文化財保護・芸術研究助成財団、日本・アフガニスタン協会; 協賛: ダイハツ工業、ヤマザキナビスコ; 協力: ナショナルジオグラフィック、日本通運、損害保険ジャパン日本興亜、大伸社、Galaxy; 観覧料: 一般1,400円(1,200円/1,100円)、大学生1,000円(800円/700円)、高校生600円(400円/300円) * () 内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 * 障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください); お問合せ: ハローダイヤル 03-5777-8600; 展覧会公式サイト: <http://www.gold-afghan.jp/>

黒田はラファエル・コランにアカデミックな絵画教育を受けただけでなく、ピュヴィス・ド・シャヴァンヌやバステイアン・ルパージュ、ジャン・フランソワ・ミレーといったフランス近代絵画の主題やそこに表された思想に強い関心を抱きました。本展では印象派の作品までをあわせてご覧いただいて、同時代のフランス絵画に黒田の作品のルーツをたどります。



フロレアル (花月)

ラファエル・コラン 1886年 オルセー美術館蔵 (アラス美術館寄託)
©RMN-Grand Palais (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

師コランの代表作。黒田にとって理想となった自然の中の裸婦像



羊飼いの少女

ジャン・フランソワ・ミレー 1863年頃 オルセー美術館蔵
©RMN-Grand Palais (musée d'Orsay) / Michel Urtado / distributed by AMF

ミレーが描く農村の労働風景に、黒田は強い関心を抱きました

記念講演会 事前申込制

①黒田清輝の画業——美術で社会を変える試み

日時: 3月26日(土) 13:30～15:00 (13:00 開場予定)

講師: 山梨絵美子 (東京文化財研究所企画情報部部長/本展企画・立案)

②黒田清輝とフランス——日本近代絵画にもたらしたもの

日時: 4月16日(土) 13:30～15:00 (13:00 開場予定)

講師: 三浦篤 (東京大学教授/本展ゲストキュレーター)

会場: 平成館大講堂

定員: 380名 (事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講無料 (ただし本展覧会の観覧券が必要。使用済みの半券でも可)

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会の番号(①もしくは②)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。

*1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先: 〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 東海堂渋谷ビル3F ユース・プランニング センター内「黒田清輝展」記念講演会 (希望する講演会番号①もしくは②) 係

申込締切: ①2月18日(木)、②3月7日(月) 必着



コランやミレーなど、黒田が学んだフランス絵画を特別出品!

必見だYo!
研究員の
イチオシ
兵馬俑

本展最大の見どころは、やっぱり兵馬俑。
選りすぐりの10体のなかから、
担当研究員ならではの視点で
イチオシ兵馬俑をご紹介します。

特別展

始皇帝と 大兵馬俑

THE GREAT TERRACOTTA ARMY OF CHINA'S FIRST EMPEROR

平成館
特別展示室

2015年10月27日(火)~2016年2月21日(日)



(井出浩正)

立射俑

ハートを射抜く
イケメンポーズ

「アチョー!」。まるでカンフー映画の1コマのようなポーズですが、れっきとした兵馬俑です。このポーズ、実は弓か弩弓を持ち、矢をつがえて攻撃命令を待っている緊迫した状況なのです。本来持っていた武器は朽ちてなくなっ

てしまいましたが、まるで一触即発なたずまいがなんとカッコイイですね。

開催概要 | 主催: 東京国立博物館、
陝西省文物局、陝西省文化交流中心、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社; 後援: 中国大使館; 協賛: 野崎印刷紙業; 協力: 全日本空運輸; 観覧料: 一般 1,600円(1,300円)、大学生 1,200円(900円)、高校生 900円(600円) * () 内は20名以上の団体料金 * 中学生以下無料 * 障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください); お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600; 展覧会公式サイト: <http://heibayou.jp/>



軍馬

ないものにこそ注目です?!

騎兵が乗る精悍な馬ですが、なかなかおしやれ。たてがみの先端は耳の前で左右に梳きわけ、しっぽはなんと三つ編みにしています。馬に乗るとき足をかける鐙がないことにも注目。実はこの時代にはまだ鐙は発明されておらず、騎兵は跳び上がるようにして馬に乗ったものと思われ

(谷豊信)

軍吏俑



この愛らしさ、
気づきましたか?

重厚な鎧と板状の冠から、歩兵を率いる隊長級の俑と考えられています。つぶらな瞳に、にくめない丸顔。口周りに生やしたヒゲは、隊長として少しでも威厳のある顔に見えるよう、がんばった証なのかもしれません。本展で初めてワーキンググループのチーフを任され「隊長」と呼ばれた私が、個人的にもっとも親しみを覚える一

(川村佳男)

掲載の作品はすべて
秦時代・前3世紀/秦始皇帝博物院蔵
© 陝西省文物局・陝西省文化交流中心・秦始皇帝博物院

展示ケース
&
照明にも
注目

特別展「始皇帝と大兵馬俑」の
行灯型移動ケース
文化財照明への果てしない挑戦

開発中の行灯型移動ケースの下部照明実験として、美しい光で側面の模様や細工を見やすく照らす試みを繰り返しました



金銀象嵌提梁壺の行灯型移動ケースは鑑賞を妨げないデザインと空間全体に光をもたらすLED照明を導入しています



「金銀象嵌提梁壺」を展示するケース照明は、科学研究費25282078・基盤研究(B)(研究代表者: 松嶋雅人)と科学研究費25284033・基盤研究(B)(研究代表者: 川村佳男)の助成による研究成果の一部です。

本展では「金銀象嵌提梁壺」(宝鸡市陳倉区博物館蔵)の美しい象嵌の細工を、展示する空間全体ごと包み込むように照らすOLED(有機EL/Organic Electro-Luminescence)という器具でケースの下から照らしています。ここではケースメーカーの協力もあり、器具が文化財の鑑賞の妨げにならないように、ケースそのもののデザインにも意を尽くしています。このようにさまざまな調査研究を重ねながら、美しい文化財照明への挑戦は続きます。(松嶋雅人)

本館 日本に会う

本館特別 1 室

文化財を後世に伝えるために

特集「東京国立博物館
コレクションの保存と修理」

3月15日(火)～4月24日(日)

博物館で皆様をお待ちしている作品たちは、より健全な状態でいられるように、収蔵庫や展示室などの整えられた環境で「体調管理」されています。なかには「手術」が必要な作品もあり、当館では毎年約80件ほどの本格的な解体修理を行なっています。

この特集では、当館が手がける保存と修理の成果を分かりやすく紹介するため、近年修理した絵画、書跡、工芸、考古などさまざまな分野の作品を、修理工程で得られた情報とともに展示します。昨年9月に修理を終えた渡辺華山筆「鷹見泉石像」も、国宝室(本館2室)でお披露目されます(下記参照)。お楽しみに。(瀬谷愛)



土偶 新潟県糸魚川市一の宮出土
縄文時代(中期)・前3000～前2000年
林カツ子氏寄贈

頭が鉢の形をした土偶です。接合部を復元、強化して、安全に展示できるようになりました



坪内老大人像 伝渡辺華山筆

江戸時代・19世紀
高井軍一氏・滋子氏寄贈
若狭小浜藩弓術指南役・坪内晴眼の肖像(渡辺華山筆)の写し。渡辺華山筆「坪内老大人像画稿」とともに修理が完成し比較してみる事ができるようになりました

(部分)

本館 2 室 国宝室

実に4年ぶりの展示公開です

国宝 鷹見泉石像

3月15日(火)～4月10日(日)



●鷹見泉石像

渡辺華山筆
江戸時代・
天保8年(1837)
華山の心境が宿っているかのような
迫真の描写に心奪われます

(部分)

渡辺華山(1793～1841)は、三河田原藩の江戸詰めの藩士でした。父が病気がちだったことや、藩の事情により幼い頃から貧困の中で暮らし、社会と人に対する鋭敏な感覚を身につけ、49歳で自ら命を絶っています。本作は、蘭学者で古河藩家老の鷹見泉石を、写実的な顔貌表現と写意的な着衣表現を調和させて品格高く描いた華山肖像画の代表作です。顔の部分に跡を残す恐れのある折れがあったため、2013年からバンクオブアメリカ・メリ

ルリンチ文化財保護プロジェクトによる助成金支援を受けて修理が行なわれ、新たによみがえりました。(田沢裕貴)

本館 13 室 金工

遊びどころあふれる造形

水滴

3月17日(日)

硯で墨をする際の水を入れる小さな器が「水滴」です。毛筆の文化圏においては重要な文房具のひとつで、さまざまな材質を用い、形態や意匠に趣向をこらしたものが作られました。近年、当館に一括して寄贈された「潜淵コレクシヨンの金属製水滴は、渡邊豊太郎氏(潜淵)とご子息の誠之氏が収集したもので、質・量ともに日本を代表する水滴コレクシヨンです。今回はその中から、獣、鳥、昆虫など動物117件を選びました。のびやかな動きのある肢体の表現は、原型を柔らかい蠟で作る「蠟型鑄造」のなせる技。多彩かつユーモラスな金属の造形表現をお楽しみいただけます。(伊藤信二)



尾長鳥水滴

江戸時代・18～19世紀
渡邊豊太郎氏・誠之氏寄贈
首をひねって鳴く尾長鳥の様子が巧みに表現されています

本館 14 室

今回は初公開作品も！

特集「おひなさまと
日本の人形」

3月1日(火)～4月10日(日)



古今雛

末吉石舟作 江戸時代・文政10年(1827) 山本米子氏寄贈
江戸の地で作り上げられた古今雛。その代表的作品です

3月3日は桃の節供。今年も恒例の特集展示を行います。当館の雛人形を代表する古今雛の名品をはじめ、象牙で頭や手足を作った牙首雛など、華やかで贅沢なおひなさまの世界をお楽しみください。特に牙首雛を飾るために作られた大型の御殿は初公開であり必見です。また今回は御所人形の優品も一挙に展示します。まるまると愛らしい稚児をかたどった御所人形の数々。繊細で美しく、そしてかわいらしいものを尊び、高い技術を駆使して作品を作り上げてきた日本独自の人形の美をご覧ください。名品図録も販売します(2月20日(土)より販売、税別1200円)。(三田覚之)

●太刀 銘一(号 上杉太刀)

福岡一文字 鎌倉時代・13世紀

●群鳥文兵庫鎖太刀

(●太刀 銘一(号 上杉太刀)の拵)

鎌倉時代・13世紀

拵(こしらえ)は飛鳥を彫金と蒔絵で様々な姿にあらわし、そのデザイン感覚は秀逸です



3/21 月・休

4 茶の美術



3/15 火 6/5 日

魚屋茶碗 銘 さわらび

朝鮮 朝鮮時代・16～17世紀

広田松繁氏寄贈

銘「さわらび」は、小堀政幸が釉の景色を春の霞に見立てて名づけたものです

3/13 日 黄釉沙金袋水指



高取

江戸時代・17世紀
薄づくりですっきりと洗練された姿の高取焼の優品です

本館 ⑤ 室

武士の装い

— 平安～江戸

本館 ④ 室

茶の美術

3 -3

3 禅と水墨画
— 鎌倉～室町



3/1 火 4/10 日

杜甫臂鷹図

拙宗等揚筆 策彦周良賛

室町時代・15世紀 個人蔵

中世の禅僧が憧れた中国の詩人、杜甫の鷹狩りの姿が描かれています(部分)



2/28 日

○梅下寿老図

伝雪舟等楊筆

室町時代・15世紀

寿老と松竹梅の枝や鹿の足がからみあう不思議な絵です

3 -2

3 宮廷の美術
— 平安～室町

3/1 火 4/10 日

○日月山水図屏風

室町時代・16世紀

桜や柳など美しい春の景と秋冬の景を対して描く屏風。金属板の日月にも注目



(部分)

2 国宝室



(善無畏像)

2/28 日

○殿図屏風

室町時代・16世紀

岡崎正也氏寄贈

様々な馬の姿とともに、その前で遊戯する人々を描きます



(部分)

3 -1

3 仏教の美術
— 平安～室町



3/1 火 4/10 日

○十六羅漢像(第一尊者)

平安時代・11世紀

変化に富んだ構図や豊かで美しい彩色が特徴の、現存する十六羅漢像の最古例です

2/28 日

2月15日に行われる涅槃会にちなんで涅槃図を展示します

仏涅槃図

鎌倉時代・14世紀

画面下方に集まった小鳥や虫たちの写実的な描写に注目です



2/14 日 ●善無畏像・慧文大師像

平安時代・11世紀 兵庫・一乗寺蔵

穏やかな筆致と華やかな彩色の、高僧像の名品です

2/16 火 3/13 日

●白氏詩巻

藤原行成筆

平安時代・寛仁2年(1018)

行成による「白氏文集」の書写。貴族が身近に置いて鑑賞したものです



(部分)

3/15 火 4/10 日 ●鷹見泉石像 → 本誌7ページ参照

入口

1 日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

1 -1

5/29 日

●盾底付甕

山梨県中央市 大塚古墳出土

古墳時代・5世紀

大陸の蒙古鉢形甕のデザインを採り入れた日本独自の帯金式甲冑です

●須恵器 子持高坏

岡山県岡山市北区下足守

冠山古墳出土

古墳時代・6世紀

7組もの有蓋坏を載せて祖先などへの食物供献儀礼を表しています



1 -2

1 仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

2/28 日

●菩薩立像

飛鳥時代・7世紀

霊木としても信仰されたクスノキ製。おっとりした顔立ちも魅力的です



(部分)

3/1 火 4/10 日

●報恩経

伝魚養筆 奈良時代・8世紀

一切の衆生を救済する釈迦の出家は、父母への孝養を示す報恩行であるといわれた經典です



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

3/8 火 4/17 日

源氏物語絵合・胡蝶図屏風

狩野晴川院(養信)筆 江戸時代・19世紀
金地に鮮やかな濃彩の画面に、満開の桜が白く輝く作品です



(部分)

1/26 火 3/6 日

◎宮女琴棋書画図屏風

海北友松筆
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
求められた4つの教養、男性を女性に置き換えたユニークな作品です



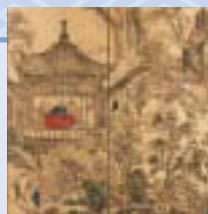
(部分)

1/24 日

◎楼閣山水図屏風

池大雅筆 江戸時代・18世紀
團伊能氏寄贈

輝く金地、澄んだ色彩、躍動する筆の力をお確かめください



(部分)

5

6

武士の装い

— 平安～江戸

◎黒韋肩袈取威胴丸

室町時代・15世紀

濃紺と白、紅の色取りが華やかな胴丸で、兜と袖を完備している貴重な作品です



8

-1

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸



1/26 火 4/17 日

◎瓢形酒入

船田一琴作
江戸時代・天保14年(1843)
いかにも装剣金工らしい、精巧な技で飾られた酒入です

1/24 日

源氏絵彩色貝桶

江戸時代・17世紀
蛤は貞節の象徴とされ、貝桶は婚礼を象徴するおめでたい道具でした



8

-2

書画の展開

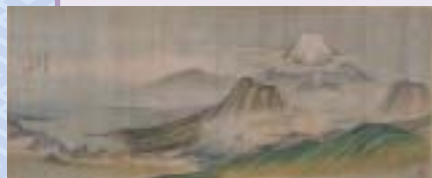
— 安土桃山・江戸

1/24 日

◎日金山眺望富士山図

宋紫石筆 江戸時代・18世紀

伊豆半島の付け根の峠からの富士山、自然な視覚が見事です



1/26 火 3/6 日

書状

徳川光圀筆 江戸時代・17世紀

まだ黄門(中納言)になる前の水戸光圀の筆跡です



9

能と歌舞伎

3/6 日

重要文化財5件を含める安土桃山時代の珍しい能装束の数々を展示します。

◎縫箔 茶地百合御所車模様

奈良・金春座伝来 安土桃山時代・16世紀
百合と御所車の大きさが逆転したデザインも、舞台衣装だからこそ!



3/8 火 4/24 日

「陵王」および「納言利」をテーマに、江戸時代の舞楽面および舞楽装束を展示します。

◎陵王襦袢 雲に龍丸模様

江戸時代・19世紀
動きの激しい「走舞」には活動的で華やかな袖なしの襦袢を着用します



【衣装】

3/6 日

吉祥模様を表わした華やかな女性の晴着を紹介します。

◎小袖 黒紅縞子地襦袢熨斗模様

江戸時代・17世紀

細かい鹿の子紋のみで大胆に踊る熨斗模様を染め出しています



3/8 火 4/24 日

春に合わせて、梅・桃・桜をデザインした小袖や打掛を展示します。

◎打掛

◎紅縞子地御簾菜玉桜模様

江戸時代・18世紀

御簾と菜玉が風に舞う、華やかな紅色の若奥様の打掛です



10

浮世絵と衣装

— 江戸

2/14 日

梅や雪をテーマとした作品と師宣の代表作を展示します。

◎北楼及び

演劇図巻

菱川師宣筆

江戸時代・17世紀

吉原と歌舞伎、

浮世絵の2大テーマを1巻に描いています



(部分)

2/16 火 3/13 日

梅や桃を描いた作品や、「美人東海道」シリーズを展示します。

◎風俗図巻

宮川長春筆

江戸時代・18世紀

版画を描かず、

肉筆画に専心した

宮川長春の代表作です



(部分)

3/15 火 4/10 日

◎夜景内外の図

「博物館でお花見」にあわせて、全てが桜にちなんだ作品です。

→本誌2～3ページ参照



本館 7 室

屏風と襖絵

— 安土桃山・江戸

本館 8-1 室

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

本館 8-2 室

書画の展開

— 安土桃山・江戸

本館 9 室

能と歌舞伎

特別 2 室

本館 10 室

浮世絵と衣装

— 江戸

出口

東洋館

アジアを旅する

東洋館
5室

「中国の陶磁」

中国陶磁の展開をたどる

特集「中国陶磁の技と美」

3月15日(火)～5月15日(日)

金属器の水瓶を写した陶製の瓶。金属器特有の圏線が頸や胴部に刻まれており、忠実に模倣していることがわかります。古来、中国のやきものは、金、銀、ガラス、玉など高価なうつわに影響を受けながら発達してきました。そしてこの均整のとれた瓶からは、6世紀の頃に至り、やきものの造形技術もきわめて高い水準に達したことをみてとれます。

特集「中国陶磁の技と美」では、この黒褐釉瓶を筆頭に中国陶磁発展の歴史をたどりながら、各時代を象徴する形、そして線彫りや絵付けの装飾をとりあげて、そのすぐれた技をご紹介します。

(三笠景子)



黒褐釉瓶

中国 北朝～隋時代・6世紀
奥田誠一氏寄贈
巧みな轆轤技術によって
ごく薄く挽かれており、
とても軽いうつわです

連携企画として、町田市立博物館で「常盤山文庫と町田市立博物館が語る―中国陶磁うつくし―」(3月12日(土)～5月8日(日))が開催されます。

東洋館
8室

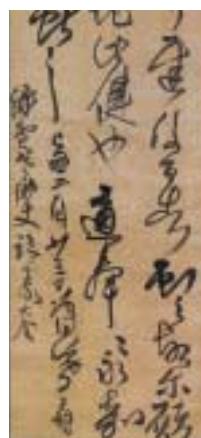
「中国の書跡」

古典的名作に肉迫し真髄を写す

「さまざまな臨書」

2月2日(火)～4月10日(日)

(部分)



臨大令帖軸

王鐸筆 中国
明時代・永曆3年(1649)
王鐸の臨書は、原跡の字
姿とはまったくかけ離れた
ユニークな捉え方に特
徴があります

書を学ぶには、定評のある名跡を手本にするのが理想的です。しかし、名跡を誰もが入手することは容易ではありません。そこで人々は法帖や石碑の拓本を傍らに置いて模写(臨書)して書を学びました。臨書は本来、原跡そっくりに書くことが第一義ですが、臨書者の個性がにじみ出た作、あるいは意図的に臨書者の感興を盛り込んだ作など、十人十色です。董其昌・王鐸・傅山・何紹基・吳昌碩や羅振玉など、明時代から清時代にいたる数々の臨書例を通して、作者の書に対する考えや古典の捉え方、あるいは時代嗜好の変遷をお楽しみください。

(富田淳)

東洋館
13室

「アジアの染織」

遊牧民の暮らしを彩った華麗な織物

「西アジア遊牧民の染織」

3月4日(日)

東京国立博物館には西アジア遊牧民が制作した染織が180点あまり収蔵されています。それらは、遊牧民研究家、松島清江氏が1960年代から1980年代にかけて現地で収集したコレクションです。パキスタン、アフガニスタン、イラン、イラク、トルコ、コーカサスなどの高地や平原では、家畜の牧草を求めて旅をする部族たちが、テントの室内や生活を彩るために、家畜の毛をつむぎ、染め、織り、衣類や袋物、敷物などを制作しました。遊牧民が消えつつある現代では稀少となったハンドメイドによる色と文様の世界を紹介します。(小山弓弦葉)



(部分)

袋裂 赤地猫人物幾何文様
バイル織・ソウマク織

イラン・ロリ族 20世紀初頭 小西明人氏寄贈
バイル織と遊牧民独特のソウマク織を1つの機(はた)で織り出しています

東洋館
13室

「アジアの民族文化」

神秘的な文様に込められた祈り

「台湾 パイワン族の木彫」

3月4日(日)



(部分)

佩刀 台湾南部 19世紀後半～20世紀前半

鞘の先端に文様として表現された毒ヘビ「百歩蛇(ひゃっぱだ)」は、パイワン族の貴族が祖先の霊として崇拜

台湾の南部に暮らすパイワン(排湾)族は貴族階級(頭目階級)と村民階級に分かれ、それぞれ異なる祖先の霊を崇めて暮らしてきました。祖霊に対する畏敬の念は、彼らが祭りや儀礼のときに用いる器物の表面に文様として表されました。とくに佩刀の柄や鞘などの木製品にびっしりと表された人物や蛇の文様は、貴族階級の祖霊を象徴しており、パイワン族の木彫を特徴づける重要な要素となっています。さまざまな木彫に表わされた、平面的でありながら生き生きとしたパイワン族の祖霊の姿をご紹介します。(川村佳男)

平成館 考古で遊ぶ

●平成館 考古展示室

埋められ保存された経典

特集「経塚出土の瓦経」

3月8日(火)～7月18日(月・祝)

瓦経は方形や長方形の粘土板に経文を刻んだ後に焼き固めたものです。11世紀後半～12世紀後半にかけて、西日本の経塚を中心にこれまでに40以上の経塚から発見されています。もともと経塚は末法思想を背景に、10世紀の終わりがらから経典を保存するためにつくられました。通常、経塚には紙に書かれた経典が経筒に納められ地下に埋納されました。瓦経は紙に比べて土中に埋めても残りやすいことから、経典を長く保存するために作られたと考えられています。

●平成館 考古展示室

石材にみる旧石器時代の暮らし

貫ノ木遺跡出土の石器

通年

平成館考古展示室、通史展示の冒頭を飾るのが旧石器時代の展示です。ここでは日本列島に初めて住み始めた旧石器時代の人々の文化を、狩りの道具の移り変わりを通してご覧いただきます。

注目のポイントは色。石は場所によってそれぞれ特徴的な色や質感を持っています。そのため、色の違いを見ることでどこから石器の材料を入手したのか、旧石器時代の人々の行動を知る手がかりとなるのです。石器の材料に適した鋭い切れ口をもつ黒曜石や頁岩

特集では当館の所蔵品や寄託品の中から代表的な瓦経や関連資料を一堂に展示します。当時頻発した自然災害や社会動乱など、まるで末法の世の到来を思わせた状況下で、人々が瓦経に込めた切なる願いを感じていただければ幸いです。

(井出浩正)



◎瓦経

三重県伊勢市浦口町旦過 小町塚経塚出土
平安時代・承安4年(1174)

縦の罫線に沿って一文字一文字丁寧に経文が刻まれています

は、限られた場所でのしか入手することができません。つまり、当時の人々は良質の石材を求め、時に100kmを超えた場所にまで足を運んでいたのです。旧石器時代の暮らしぶりをぜひ展示から感じてください。(飯田茂雄)



ナイフ形石器

長野県信濃町 貫ノ木遺跡出土
旧石器時代(後期)・前35000年 長野県立歴史館蔵
石器の色の違いは、材料となる石材や入手した場所の違いを示しています

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

33

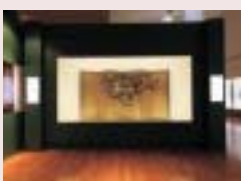
展示環境の保全と 伝統的屋内光環境の復元を両立

作品を保存するその先には安全な活用を実現するという大きな目的があります。博物館では展示が最も大切な活動になりますが、安全な展示環境も整えねばなりません。展示中の作品は必ず光を受けねばならず、展示照明には特に注意しています。光照射による素材の劣化や照明器具の発熱による影響を排除する工夫を考えながら、美しい光環境を実現するのはなかなか難しいものです。

近年、OLED(有機EL)という新たな光源を活かして伝統的屋内光環境の復元を試みる研究(科研費25282078、研究代表者・松嶋雅人)を立ち上げてこの課題に取り組んでいます。かつて作者が作品を眺めていた環境に少し近づいて鑑賞してみると新たな魅力を発見できるかもしれません。(和田浩)



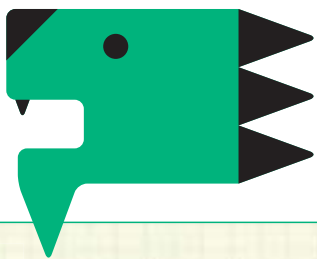
障子からの光をイメージして展示ケース外に設置したOLED光源



美しく浮かび上がった「雷神図屏風」(クリーブランド美術館蔵)



伝統的日本人屋内に広がる柔らかな光環境



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業



知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・ギャラリートーク

講演会

月例講演会「メソポタミアとインダスのあいだー知られざる海洋の古代文明ー」

日時:2月27日(土) 13:30 ~ 15:00 講師:後藤健(特任研究員)
前3000 ~ 前2000年紀のアラビア(ペルシア)湾を支配した海洋民の文明を紹介しします。

月例講演会「中国考古展今昔物語」

日時:3月12日(土) 13:30 ~ 15:00

講師:谷豊信(学芸研究部長)

特別展「始皇帝と大兵馬俑」まで含めると、これまで十数回の中国展に参加しました。中国展の移り変わりと、中国展ならではの苦労話(今となっては笑い話)を紹介しします。

そう、すべて
いい思い出ね...



月例講演会「中国陶磁の色と形」 *関連展示:本誌10ページ

日時:4月2日(土) 13:30 ~ 15:00 講師:矢島律子(町田市立博物館学芸員)
町田市立博物館との連携企画 特集「中国陶磁の技と美」にちなみ、中国陶磁発展の鍵となる色彩(釉)と造形についてお話しします。

*いずれも会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし当日の入館料は必要)、開場は開始の30分前。

ギャラリートーク

銘文刀剣と古墳時代の社会

日時:2月2日(火) 14:00 ~ 14:30 平成館考古展示室

講師:古谷毅(列品管理課主任研究員)

篆書銘文から読み取れる銘文刀剣に込められた意味と、『古事記』・『日本書紀』が成立する以前の社会の様子や特質についてお話しします。

江戸幕府御用絵師板谷家の仕事

日時:2月9日(火) 14:00 ~ 14:30 平成館企画展示室

講師:金井裕子(特別展室研究員)

江戸幕府の御用絵師として、江戸時代中期に住吉家から分家した板谷家。当館が寄贈を受けた「板谷家伝来資料」を中心に歴代の作品を紹介しします。

高知・愛媛の考古学

日時:2月16日(火) 14:00 ~ 14:30 平成館考古展示室

講師:井出浩正(考古室研究員)

古来より人とモノの流路である四国。平成27年度考古資料相互賃借事業に伴い、高知県や愛媛県の貴重な考古資料の見どころを解説しします。

石で作られた道具 *関連展示:本誌11ページ

日時:2月23日(火) 14:00 ~ 14:30 平成館考古展示室

講師:飯田茂雄(考古室アソシエイトフェロー)

私たちとは違う生活スタイルを持っていた旧石器時代と縄文時代。その生活を支えた石の道具とその魅力を紹介しします。

かたいインを
もったオトコは
ステキなんだほ!



おひなさまと日本の人形 *関連展示:本誌7ページ

日時:3月1日(火) 14:00 ~ 14:30 本館14室

講師:三田寛之(教育普及室研究員)

華やかで楽しいお雛さま。恒例の展示に合わせ、お雛さまや御所人形など、お人形の素晴らしさについてお話しします。

「修理」という視点からみた仏画

日時:3月8日(火) 14:00 ~ 14:30 本館3室

講師:沖松健次郎(絵画・彫刻室主任研究員)

仏画の修理・修復という視点から、昔と今の違いなどさまざまな面を考えてみます。

特集「東京国立博物館コレクションの保存と修理」 *関連展示:本誌7ページ

日時:3月15日(火) 14:00 ~ 14:30 本館特別1室

講師:高橋裕次(保存修復課長)

土偶、法隆寺裂、塑像など、さまざまな分野の作品について行なった修理の内容やその成果を、より分かりやすく紹介しします。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

藝大生が様々な切り口で作品を紹介しします。

(各回15:30 ~ 15:50)

青木繁、最後の神話画『日本武尊』

日程:2/4(木)、10(水) 本館18室(集合場所:本館エントランス)

解説者:西尾真名

20世紀初頭という転換期にどのように神話画が描かれたのかお話しします。

鈴木長吉「鷲置物」

日程:2/12(金)、19(金) 本館18室(集合場所:本館エントランス)

解説者:李京林

超絶技巧と呼ばれるその技術・表現、制作の時代背景についてお話しします。

着物からみる江戸時代の女性のファッション

日程:3/1(火)、2(水) 本館10室(集合場所:本館エントランス)

解説者:玉井あや

江戸初期の女性たちが楽しんだおしゃれを晴れ着からひも解きます。

藍涛の『玉堂富貴図』

日程:2/11(木) 東洋館8室(集合場所:東洋館エントランス)

解説者:李趙雪

中国・清時代の名品を過去にタイムスリップした気持ちで紹介しします。

『厩図屏風』の表現について

日程:2/9(火) 本館3室(集合場所:本館エントランス)

解説者:武内麻美

屏風における作品形式を手がかりに、『厩図屏風』の表現についてお話しします。

前田青邨の目に映った中国石仏

日程:2/7(日)、18(木)、20(土)(集合場所:本館エントランス)

本館18室 解説者:王紫沁

前田青邨の描いた雲崗の大仏から、日本画家が中国に注いだ眼差しを考えます。

『七宝養賢文庫』にみる清工芸の精華

日程:2/2(火)、5(金)、16(火)、21(日)(集合場所:東洋館エントランス)

東洋館9室 解説者:川村笑子

最高峰の技術に達した清時代の工芸界。「七宝」の極められた美についてお話しします。

清時代の玉器

日程:2/6(土)、13(土)、24(水)、27(土)(集合場所:東洋館エントランス)

東洋館9室 解説者:巖由季子

瑪瑙でつくられた石櫛の見どころを紹介しながら、清時代の玉器の特色をお話しします。

刀装にみる鎌倉時代の飾りの意識

日程:2/14(日)、17(水)、28(日)、3/9(水)(集合場所:本館エントランス)

本館5室 解説者:田淵可菜

社寺への奉納太刀に施された華麗な文様装飾の見どころについてお話しします。

*「東洋館シアター」とは、東洋館 TNM&TOPPAN ミュージアムシアターのことで、

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡しします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、

通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

ART 2

五感を使った美術体験 ワークショップ・ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーワークショップ「ひいな遊びー立雛を作ろうー」

お雛祭の伝統は、平安時代ころから行なわれた「ひいな遊び」に遡ります。今回のワークショップでは当館所蔵の「古式立雛」をモデルに料紙(文様のある和紙)を作るところから、初期の立雛を再現します。自分オリジナルのお雛さまを作ってみませんか？

日時：2月20日(土) ①10:00~12:00、②14:00~16:00

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：①小学生~中学生およびその保護者 ②高校生以上

定員：①10組 ②20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください。

※②は1回の入力で最大2名まで申込可

申込締切：①②ともに2月4日(木) 必着



古式立雛
江戸時代・17~18世紀
展示期間：3月1日(火)~
4月10日(日) 本館14室

お雛さまを作って
遊びましょ！

ファミリーワークショップ「桜の庭で屏風体験」

かつては部屋の中で実際に使われていた屏風。

「どのように使っていたの?」「展示室ではなく部屋に置いたらどう見えるの?」桜舞うトーハク自慢のお茶室で体験してみましょう! キヤノン株式会社と京都文化協会が推進する「綴プロジェクト」で作られた高精細複製品を使い、屏風や日本の伝統文化を身近に感じていただくワークショップです。

日時：3月26日(土) ①10:00~12:00、②14:00~16:00

場所：本館展示室および応接室

対象：小学生~中学生およびその保護者

定員：各回10組(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)

主催：東京国立博物館、キヤノン株式会社

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください。

申込締切：3月10日(木) 必着



畳の上で、
自然の光で屏風を味わいます

※インターネットからのお申込ができない方は、お電話でお問い合わせください。

TEL: 03-3822-1111 (代) 教育普及室

ART 3

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき]

アートスタジオ「桜の根付作り」

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後、焼くと固まる樹脂粘土を加工して桜をテーマにオリジナルの根付を制作します。完成品はお持ち帰りいただけます。

日時：3月20日(日) 13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：高校生以上 定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがきでお申し込みください。「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください)、(3)代表者の電話番号



を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。 ※1枚のはがきで、最大2名まで申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「3月20日桜の根付」係

申込締切：2月22日(月) 必着

工程見本展示

「金一國宝「孔雀明王像」ができるまで」

3月15日(火)~9月11日(日)

本館19室 みどりのライオン体験コーナーの「トーハクで〇〇ができるまで」の展示が替わります。

平安時代・12世紀に描かれた仏画、国宝「孔雀明王像」を例にとり、「截金」の技法をご紹介します。截金は細く切った金箔を膠で貼り付けて文様などを表す、平安・鎌倉時代の仏教絵画に多く見られる技法です。金箔が光を反射して放つ強い輝きをご覧ください。



トーハクくんの
なるほク
トーハク

独占取材! 特別展ができるまで! (展示編)



ほー…これが兵馬俑坑の再現展示…(にやり)…
レプリカにまぎってみたいかなー

ダメだよ、トーハク君!

…兵馬俑展ワーキンググループ(W・G)の川村さん!!

兵馬俑のレプリカは1体が約180kg。
重たくて展示するのが大変だったんだからね!

ごめんなさい! あ、展示のこと…もっと教えてほしいほ!

んー? じゃあ、兵馬俑展を例に、
展示作業の裏側をちょっと見てみようか。

お客様に分かりやすく、文化財をより魅力的にみせるために、W・Gは会場構成や展示方法にも知恵を絞っています。

兵馬俑の展示にあたって重視したのは、「軍団」としての迫力の再現。本物のほかに、約70体の精巧なレプリカを中国で制作し、トーハクならではのスケール感をもった展示を実現しました。



初期のイメージ図。これを基本に作品情報
を図面に起こして検討します



厳重に梱包されたレプリカ。
なんと到着時までは、首が抜けた状態!



ときには車の下にもぐりこんで
作業を行なうことも!

展覧会が開幕した後も、展示に問題がないか
日々、点検や調整をしているんだよ。

展覧会を作るって大変なんだほー。

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2016-

2009年から引き続き「ミュージアム・コンサート 東博でバッハvol.27〜31」を今年も開催します。

①東博でバッハvol.27 ゴルトベルク変奏曲(弦楽三重奏)〜三浦文彰、豊嶋泰嗣、富岡康太郎

日時:3月18日(金) 開演19:00 開場18:30

曲目:J.S. バッハ(シトコヴェツキ編)/ゴルトベルク変奏曲 BWV988(弦楽三重奏版)ほか

②東博でバッハvol.28 キム・カシュカシャン(ヴァイオリン)

日時:3月26日(土) 開演19:00 開場18:30

曲目:J.S. バッハ/無伴奏チェロ組曲(ヴァイオリン版)第1番 ト長調 BWV1007ほか

③東博でバッハvol.29 戸田弥生(ヴァイオリン)

日時:3月31日(木) 開演19:00 開場18:30

曲目:J.S. バッハ/無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 短調 BWV 1004ほか

④東博でバッハvol.30 有希 マヌエラ・ヤンケ(ヴァイオリン)

日時:4月5日(火) 開演19:00 開場18:30

曲目:J.S. バッハ/無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番 短調 BWV1001ほか

⑤東博でバッハvol.31 エマヌエーレ・セグレ(ギター)

日時:4月13日(水) 開演19:00 開場18:30

曲目:J.S. バッハ/リュート組曲短調 BWV995ほか

会場:①平成館ラウンジ ②③④⑤法隆寺宝物館エントランスホール
料金:各回3,600円(全席自由)

〈チケットのお求め方法〉

東京・春・音楽祭 <http://www.tokyo-harusai.com/>

東京文化会館チケットサービス TEL 03-3322-9966 ほか

主催:東京・春・音楽祭実行委員会 共催:東京国立博物館

お問合せ:東京・春・音楽祭実行委員会 TEL 03-5205-6497

法隆寺宝物館が一部オープン

昨年5月より環境整備工事のため休館していた法隆寺宝物館が開館します。まずは3月15日(火)、1階第1室・第2室がオープン。今回の工事では、展示ケースのメンテナンスと補修を行ないました。また、照明の大部分をLEDに刷新し、作品がよりきれいに見えるようになっています。国宝「灌頂幡」と金銅仏など、貴重な名品をぜひご覧ください。



法隆寺宝物館第2室

休館・閉室情報

下記の展示館を一時休館・閉室しています。

本館特別4室:3月14日(月)〜3月22日(火) [展示準備のため]

表慶館:当面の間(特別展・イベント開催時を除く) [展示環境整備のため]

法隆寺宝物館1階第3室および2階:〜4月25日(月) [工事遅延のため]

※1階レストランおよび中2階はオープン日未定です。

黒田記念館:〜6月13日(月)まで休館

ANMA シンガポール大会に出席

昨年11月にアジア文明博物館で開催された第5回アジア国立博物館協会(通称ANMA)の理事会・定期大会に、東京国立博物館長の銭谷真美らが出席・参加しました。理事会には、アジアの13カ国から代表館が集まり、各国の現況を報告、今後も協力関係を深めていくことを確認しました。定期大会では「歴史、民族、芸術のバランス:国立博物館の役割」をテーマに、円卓会議も含めて講演・発表があり、活発に意見を交換しました。2015年のシンガポールでは建国50年の祝賀行事も多彩で、「若い国」ならではの活気ある集まりでした。



Image: Courtesy of the Culture Academy, Singapore

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジット・カード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2016年1月12日現在

特別会員 団体

日本建設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様

凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロンドソネット 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協会 様

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謹慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様

株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝学院 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットアジアティビ 様
株式会社 小西美術工芸社 様
有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様

光村図書出版株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスパーハン・ジャパン 様
株式会社 ユニミス 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様

全日本空輸株式会社 様
株式会社 清光社 様
有限会社 アトリエ・エビス 様
一般社団法人 学士会 様
公益財団法人 書道芸術院 様
アズビル株式会社 様
セコム株式会社 様
株式会社 ニッセイコム 様

個人

プレミアム会員
岩間 良孝 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
特別会員
辻 泰二 様
長谷川 英樹 様
谷川 紀彦 様
佐久間 基晴 様
田中 将介 様
林 秀彦 様
維持会員
木村 則子 様
高木 聖鶴 様
伊藤 信彦 様
飯内 匡人 様
服部 悦子 様
岩沢 重美 様
高田 明美 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和山 美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 美子 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様

維持会員
網村 安代 様
岡田 博子 様
日井 生三 様
津川 井秀郎 様
田中 千秋 様
神通 豊 様
神通 豊一 様
観世 あすか 様
星 望 尚 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
飯岡 雄一 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
吉原 知良 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
栄田 隆子 様

維持会員
田中 節山 様
高木 聖男 様
田浦 宏己 様
山中 翠子 様
荒木 章 様
関口 大志 様
柳村 衛 様
澤澤 剛志 様
小日向 志乃 様
松前 達郎 様
佐藤 貴士 様
横田 隆義 様
山田 伊知郎 様
中野 俊介 様
井出 宗則 様
土屋 和彦 様
難波 栄一 様
加納 人 様
林 和子 様
清水 透石 様
野田 陽代 様
佐藤 美善 様
青山 慶子 様

維持会員
谷内 英一 様
杭迫 柏樹 様
樋口 順一 様
吉永 喜代子 様
長嶋 益子 様
嶋 晃秀 様
高山 真行 様
渡辺 昭美 様
鈴木 深泉 様
中村 久丸 様
李 雲莉 様
供田 扶美 様
福武 正廣 様
竹内 和世 様
岡野 一昭 様
伊藤 彰信 様
小林 浩和 様
小森 正樹 様
宮下 雅博 様
青山 瑞枝 様
川上 陽子 様
福代 暎山 様
田代 雅彦 様
昆 政彦 様
中村 伸夫 様

維持会員
羽石 史生 様
笠原 勉 様
並原 正行 様
武井 伸之 様
前田 寿子 様
高木 紘司 様
小谷 泰子 様
田中 三伊 様
黒野 英俊 様
鈴木 健之 様
若本 みち子 様
森本 晃生 様
石飛 博光 様
清原 真里 様
角田 保行 様
平尾 佳淑 様
三浦 基広 様
金光 真佐一 様
田辺 修一 様
岩瀬 源史 様
吉原 剛一 様
春日 信彦 様
本吉 文夫 様
重田 綾子 様
松原 聡 様

資料館より一図書検索(OPAC)について

資料館の図書検索(OPAC)では、当館の所蔵する図書や雑誌の検索ができます。当館刊行物を中心に目次・論文の入力も行っていますので、詳細検索のページから目次・論文タイトルや著者での検索が可能です。図書検索システムの使い方については、当館ウェブサイト資料館利用案内のページをご覧ください。また、図書検索のトップページでは、検索窓のほか、カレンダーや、ライブラリーニュース、新着図書などの案内がご覧になれます。画面をスクロールしていただくと、当館刊行物のリストを展覧会カタログ、調査研究報告書、目録類などの種類別に表示していますので活用ください。



図書検索のトップページ:<http://webopac.tnm.jp/>

図書検索のトップ画面



特別展「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠」チケットプレゼント

本誌4～5ページでご紹介した特別展「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠」(3月23日〈水〉～5月15日〈日〉)の無料観覧券(10組20名様)を抽選でプレゼントします。締切は3月28日(月)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢ならびにこの号で一番おもしろかったページをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース2・3月号」プレゼント係



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

VR作品『日本工芸の名宝 色絵月梅図茶壺・八橋蒔絵螺鈿硯箱』～4月17日(日)

当館を代表する江戸時代の工芸品、重要文化財「色絵月梅図茶壺」と国宝「八橋蒔絵螺鈿硯箱」、この2つの作品を、最新の計測技術を使ったデジタルアーカイブデータを用いて、バーチャルリアリティで再現しました。ミクロの視点、作品の内側からの鑑賞など、デジタルでしか表現できない方法で作品の世界をご覧ください。

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

*総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円
*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
*詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>



『MUSEUM』659号(2015年12月15日発行)の掲載論文

- ①「岩手・黒石寺薬師如来坐像と像内銘記」
西木政統(当館絵画・彫刻室アソシエイトフェロー)
- ②「尊氏願経と宋版一切経思溪版」
佐々木勇(広島大学大学院教授)
- ③「『研究ノート』大倉集古館蔵「伝法蓮房坐像」の像主について」
浅瀬毅(当館教育講座室長)

お問合せ:当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価:1,543円(税込)



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 3月～12月までの特別展開催期間中の金曜日は20:00まで
- 7月・8月の水曜日は20:00まで
- 3月26日(土)～9月までの土・日曜、祝日および5月2日(月)は18:00まで
- 10月14日(金)・15日(土)は22:00まで
- 11月3日(木・祝)、5日(土)は20:00まで
- 6月14日(火)より黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝日・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)

- 3月28日(月)、4月4日(月)、5月2日(月)、8月15日(月)は開館
- 2016年の年末は12月23日(金・祝)まで開館、2017年は1月2日(月・休)から開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。
*次号よりご送付希望の場合、締切は3月10日(木)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

発行日から1年間有効

年会費 10,300円

*継続入会(パスポート・ベシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート

発行日から1年間有効

一般 4,100円

29歳以下 3,000円

学生 2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベシック

発行日から1年間有効

一般 1,500円

29歳以下 1,100円

学生 900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

【ウェブサイト】

申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

- 振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読&パスポート・ベシック

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号 00140-1-668060

- パスポート・ベシックの申し込みの場合、振替用紙に申込区分([パスポート・ベシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]・[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

*一度納められた料金の払戻はいたしません。

1月	休館日	特別展「始皇帝と大兵馬俑」
2火	G「銘文刀剣と古墳時代の社会」14:00 平成館考古展示室 建11:00 藝「『七宝饗餐文貞』にみる清工芸の精華」15:30 東洋館9室	
3水		
4木	東11:00 藝「青木繁、最後の神話画『日本武尊』」15:30 本館18室	
5金	藝「『七宝饗餐文貞』にみる清工芸の精華」15:30 東洋館9室	
6土	本14:00 藝「清時代の玉器」15:30 東洋館9室	
7日	作13:30*1 考14:30 藝「前田青邨の目に映った中国石仏」15:30 本館18室	
8月	休館日	
9火	G「江戸幕府御用絵師板谷家の仕事」14:00 平成館企画展示室 建11:00 藝「『既図屏風』の表現について」15:30 本館3室	
10水	樹13:30 藝「青木繁、最後の神話画『日本武尊』」15:30 本館18室	
11木	庭14:00 本14:00 藝「藍涛の『玉堂富貴図』」15:30 東洋館8室	
12金	英14:00 藝「鈴木長吉『鷺置物』」15:30 本館18室	
13土	陶14:30 藝「清時代の玉器」15:30 東洋館9室	
14日	近13:00 浮14:00 藝「刀装にみる鎌倉時代の飾りの意識」15:30 本館5室	
15月	休館日	
16火	G「高知・愛媛の考古学」14:00 平成館考古展示室 藝「『七宝饗餐文貞』にみる清工芸の精華」15:30 東洋館9室	
17水	藝「刀装にみる鎌倉時代の飾りの意識」15:30 本館5室	
18木	彫11:00、15:00 藝「前田青邨の目に映った中国石仏」15:30 本館18室	
19金	藝「鈴木長吉『鷺置物』」15:30 本館18室	
20土	W「ひいな遊び」10:00、14:00 本館地下教育普及スペース 建11:00 樹13:30 本14:00 藝「前田青邨の目に映った中国石仏」15:30 本館18室	
21日	東11:00 英11:00 浮14:00 考14:30 藝「『七宝饗餐文貞』にみる清工芸の精華」15:30 東洋館9室	
22月	休館日	
23火	G「石で作られた道具」14:00 平成館考古展示室	
24水	藝「清時代の玉器」15:30 東洋館9室	
25木	本14:00	
26金		
27土	講「メソポタミアとインダスのあいだに知られざる海洋の古代文明」13:30 平成館大講堂 刀13:30 陶14:30 藝「清時代の玉器」15:30 東洋館9室	
28日	彫11:00 庭14:00 考14:30 藝「刀装にみる鎌倉時代の飾りの意識」15:30 本館5室	
29月	休館日	

1火	G「おひなさまと日本の人形」14:00 本館14室 建11:00 藝「着物からみる江戸時代の女性のファッション」15:30 本館10室	
2水	藝「着物からみる江戸時代の女性のファッション」15:30 本館10室	
3木	東11:00	
4金		
5土	本14:00	
6日	考14:30	
7月	休館日	
8火	G「『修理』という視点からみた仏画」14:00 本館3室 建11:00	
9水	樹13:30 藝「刀装にみる鎌倉時代の飾りの意識」15:30 本館5室	
10木	庭14:00 本14:00	
11金	英14:00	
12土	講「中国考古展今昔物語」13:30 平成館大講堂 陶14:30	
13日	近13:00 浮14:00	
14月	休館日	
15火	G「特集『東京国立博物館コレクションの保存と修理』」14:00 本館特別1室	「博物館でお花見を」 春の庭園開放
16水	♪桜の街の音楽会 11:00 正門内池前	
17木	バックヤードツアー「保存と修理の現場へ行こう」14:00*2 彫11:00、15:00 庭14:00*5	
18金	バックヤードツアー「保存と修理の現場へ行こう」14:00*2 ♪桜の街の音楽会 11:00 正門内池前 法15:00 ♪東博でバツ! vol.27 19:00 平成館ラウンジ*3	
19土	法11:00(手話通訳付) 樹13:30 本14:00	
20日	東11:00 英11:00 茶12:30、14:00 作13:30*4 浮14:00 考14:30 彫15:00	
21月・祝		
22火	休館日	
23水	G「陶磁器にみる植物表現 桜を中心に」14:00 本館地下教育普及スペース 樹13:30 特別展「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠」	
24木	本14:00 ♪桜の街の音楽会 13:00 法隆寺宝物館エントランスホール	
25金	夜間開館(20:00まで) 法15:00	
26土	開館延長(18:00まで) 【黒田】「黒田清輝の画業—美術で社会を変える試み」13:30 平成館大講堂 W「桜の庭 で屏風体験」*4 10:00、14:00 樹「桜ぬりえ」11:00~16:00 本館2階ラウンジ 建11:00 法12:00 刀13:30 陶14:30 法15:00 ♪東博でバツ! vol.28 19:00 法隆寺宝物館エントランスホール*3	
27日	開館延長(18:00まで) W「桜ぬりえ」11:00~16:00 本館2階ラウンジ 彫11:00 茶11:00、12:30*5 東12:00 浮13:30 庭14:00 考14:30	
28月		
29火		
30水	G「長沢芦雪筆桜下美人図の魅力」14:00 本館地下教育普及 スペース ♪桜の街の音楽会 13:00 本館大階段	
31木	鑑賞ガイド「浮世絵に満開の桜」11:00 本館地下教育普及スペース 本14:00 ♪東博でバツ! vol.29 19:00 法隆寺宝物館エントランスホール*3 (5/15まで)(4/17まで)(4/10まで)	

*1 事前申込制。申し込みは締め切りました *2 事前申込制。詳細は本誌前号13ページ

*3 有料イベント。詳細は本誌14ページ *4 事前申込制。詳細は本誌13ページ

*5 事前申込制。詳細は本誌2~3ページ

* =「博物館でお花見を」関連事業、詳細は本誌2~3ページ

【黒田】=特別展「生誕150年 黒田清輝—日本近代絵画の巨匠」関連事業。詳細は本誌5ページ

講=月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展開関連事業については、当該ページ)

G=ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ

W=ワークショップ、ファミリーワークショップ、詳細は本誌13ページ

=託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料

作=ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制

本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館エントランス

浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館エントランス

陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館エントランス

彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館エントランス

樹=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館エントランス

考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室

庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館エントランス(先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)※3/17は事前申込制(詳細は本誌2ページ)

茶=ボランティアによる応挙館での茶会(2月は休止します)、集合場所:本館エントランス(参加費500円、先着18名、開始30分前に集合場所で整理券配布)※3/27は事前申込制(詳細は本誌2ページ)

英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館エントランス

建=ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館エントランス

近=ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館エントランス

刀=ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館エントランス

東=ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館エントランス(木曜日は「仏像の旅」、日曜日は「東洋館ハイライト」をご案内します)

法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館エントランス

藝=藝大インターンによるギャラリートーク。詳細は本誌12ページ

※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。